北方領土新聞

兵庫県
姫路市立
安富中学校

北海道初上陸！

初めての風景。初めての空気。初めての人々。何もかも初めてのこの街のいたる所に、ある文字が描かれていました。

『返せ北方領土』

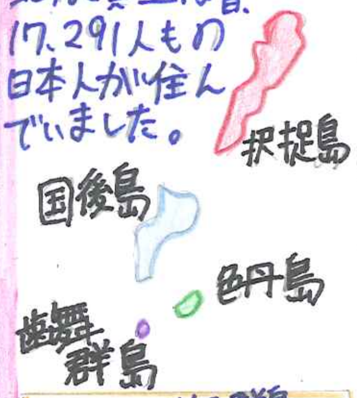
この文字をこの数日の間に何度見たことでしょうか。

しかし、その後、私は高校生の方の話、「ジョバンニの島」を見て思ったことが、ありました。

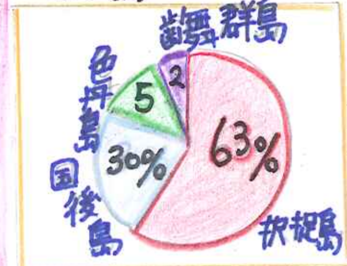
その２つの共通点として、どちらもロシア人を北方領土から追い出す。という考えではありません。どちらも島をロシア人と日本人がお互い仲良く暮らすことを望んでいるように感じました。現在行われているようにビザなし交流が行われたりなど、とても積極的に活動が行われているように思います。この活動を今後もと続けていけば、もっと明るい未来につながっていくんじゃないかと思います。

そして北方領土は問題もたくさんあります。その一つとして環境問題があげられます。汚水をそのまま海に流したり、ゴミをその辺に捨てたり。でも、だからこそ、ここで日本人とふれあい、ゴミの処理を行ったり、清潔に過ごすための物を一緒に考えたり、作ったり、そういった活動を行うといいのではないかと思いました。

北方領土の豆知識



北方領土は昔17,291人もの日本人が住んでいました。



▲四島の面積比率

四島の総面積は5003Km²

これは…

福岡県に匹敵

北方領土は千島列島に含まれないよ!!

どんどん進む高齢化…

先ほど出た環境問題の他に『高齢化』という問題があります。環境問題は努力すれば解決することができます。しかし高齢化は努力しても決して止まることはありません。そしてなぜ北方領土での高齢化が問題になるのかという理由が大きく分けて二つあります。

一つ目は、北方領土についての歴史を、実際に体験し、そしてそれを伝えていく人がいなくなってしまう事です。今現在でも高校生などの若い世代で歴史を伝えている人達がいます。しかし、その一方で実際に家や家族を奪われ、すごく大変な思いをされた方はどんどんと減ってきています。それはしっかりと数字にも出ていて、17,291人もいた人達は、74年経過し、5,913人しか残っていません。平均年齢も84.1歳という数字が出ています。

二つ目の問題は、北方領土という島に戻る目的をはたす人がいなくなってしまう事です。もしも北方領土が返された時、うつり住む人がいるかもしれません。しかし、「北方領土」というふるさとに帰る目的をはたせるのは、元島民の方でなければはたせない事です。元島民の方の話を聞いた時、すごく心に残ったことがありました。『資源が欲しいから返してほしいわけじゃない』と。元島民の方のほとんどの方がただただ、生まれ育ったふるさとに帰りたい。そう思っているのです。少しでも一秒でも一分でも早く、この思いがロシアの、いや全国の人々に伝わる日が来ることを私は祈っています。

ジョバンニの島を見て…

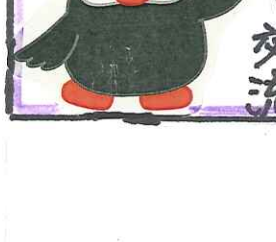
この話は、北方領土に住む男の子の話で、とてもリアルに再現されていて、元島民の方がおっしゃっていたこともあり、とても北方領土へ思いのこもった映画となっていました。

ロシア人の「ターニャ」と出会い、恋に発展したり、ケンカしたり、別れたり、とても楽しめるシーンもあって見ていてあきませんでした。弟のかんたが死んでしまい、遺体は捨ててしまわなければならないそんなシーンの時、ずっとずっと話しかけて、彼は「かんた」と一緒に日本に帰ることが出来たんです。もしも私なら、生きる気力もなくなってしまうような状態で彼はただ、ひたすらに前を見ていたんです。どんなにつらくてもただ前だけを向いて歩く、それがとても大切だと思わせてくれる映画でした。

ジョバンニの島
DVD

編集後記

新聞を書いている中で、はっきりとした自分の意見が、しっかりと定まりました。

今、私は歴史を肌で感じ、学ぶことができました。私はたくさんのことを学び、何を感じたのか、島をどうしたいのか。私は日本人とロシア人がお互いの考えをしっかりと聞いて、もっとお互いを尊重し合うのが大切だと思います。その中で交流を深め いつかはロシア人と日本人が同じ土地で同じ島で暮らし、あいさつを普通に交わし、誰もがいい空気でよい環境で暮らせるような島にしたいです。